

オンデマンド仮想美術館のための Web 投票システム

佐々木俊充[†] 稲垣真紀[†] 細澤新太郎[†] 渡邊貴之[†] 湯瀬裕昭[†] 泰井良[‡] 鈴木直義[†]
静岡県立大学経営情報学部[†] 静岡県立美術館[‡]

1. 開発の目的

静岡県立美術館で平成 13 年 6 月 23 日から 7 月 22 日まで「ザ・ベスト展 2001」が行われた。それに先立って 3 月から 5 月にかけて当館の所蔵品約 2,500 点から展示リクエストを県民から受け付けた。本システムはインターネットから所蔵作品の検索と展示リクエストの投票を行うために開発された。

2. Web 投票システムの仕組み

本システムは、Web サーバとデータベースシステムを連携動作させている。データベースシステムとしては PostgreSQL、サーバサイドスクリプト言語として PHP を用いている。図 1 に本システムの概要を示す。

ユーザはブラウザから所蔵品を検索し、その検索結果を元に所蔵品リクエストを投票する。その際 Web サーバ側ではセッションを保持しながら一連の動作をする。検索時にはデータベースから所蔵品データを取り出し、データ加工し検索結果を表示する。投票時にはフォームから送られた投票データを、データベースに格納する仕組みになっている。

また本システムは美術品画像を取り扱っているため、著作権に注意する必要がある。インターネットでの公開運用に際しては、

美術館が発行している収蔵品目録をもとにした画質を落とした画像データを本システムで表示させた。

展示会期中は、後述する高精細画像を表示する仮想美術館システムと連動させるために、館内からのアクセスに対しては高画質な画像データを表示させた。

3. オンデマンド仮想美術館

本システムを仮想美術館システムと連動することにより、オンデマンドな仮想美術館を構成する。このオンデマンド仮想美術館では、利用者が本システムの投票データをもとに展示作品を選択し、コンピュータ上の仮想美術館内に展示作品を配置する。利用者はコンピュータ上の仮想美術館内を自由に歩き回り、展示作品を鑑賞することができる。

オンデマンド仮想美術館を「ザ・ベスト展 2001」開催期間中に館内で運用した。これにより逐次、投票結果が仮想美術館上に反映された。

4. 今後の予定

今後、データベースに格納されているデータを XML 形式で表現し、複数の美術館の所蔵品をダイナミックに活用・管理できるデータベースに拡張して行く。

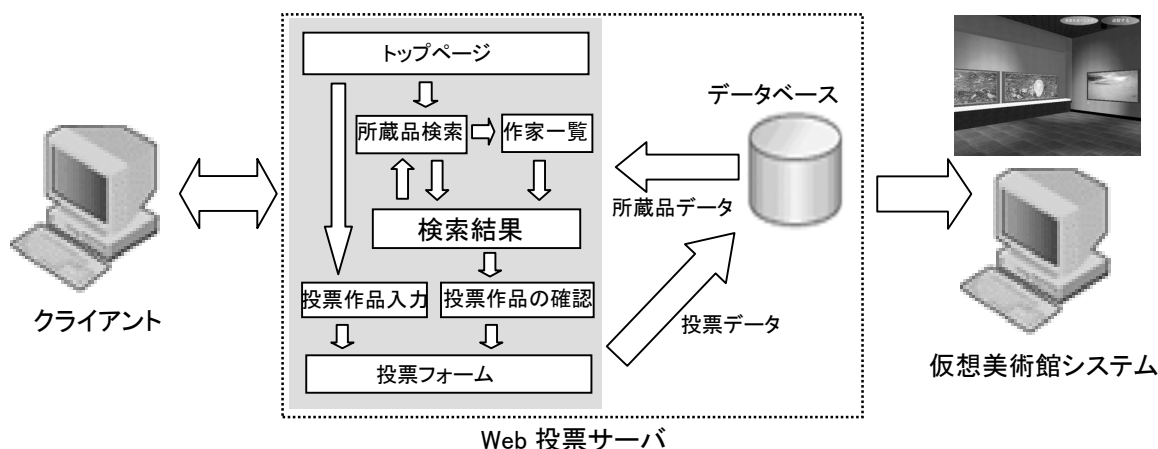


図 1 Web 投票システムの概要